

“つなぐ人材”を育てるために： 公共圏における科学技術・教育研究拠点（STiPS）の特色

STiPS の概要

- 大阪大学および京都大学の連携による人材育成プログラム
- 科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業（SciREX）の一環として、2012年1月に発足
- 科学技術の倫理的・法的・社会的問題（ELSI）に関する研究を基盤とした、公共的関与の活動と分析
- 学問諸分野間ならびに学問と政策・社会の間を“つなぐ”ことを通じて、政策形成に寄与できる人材育成

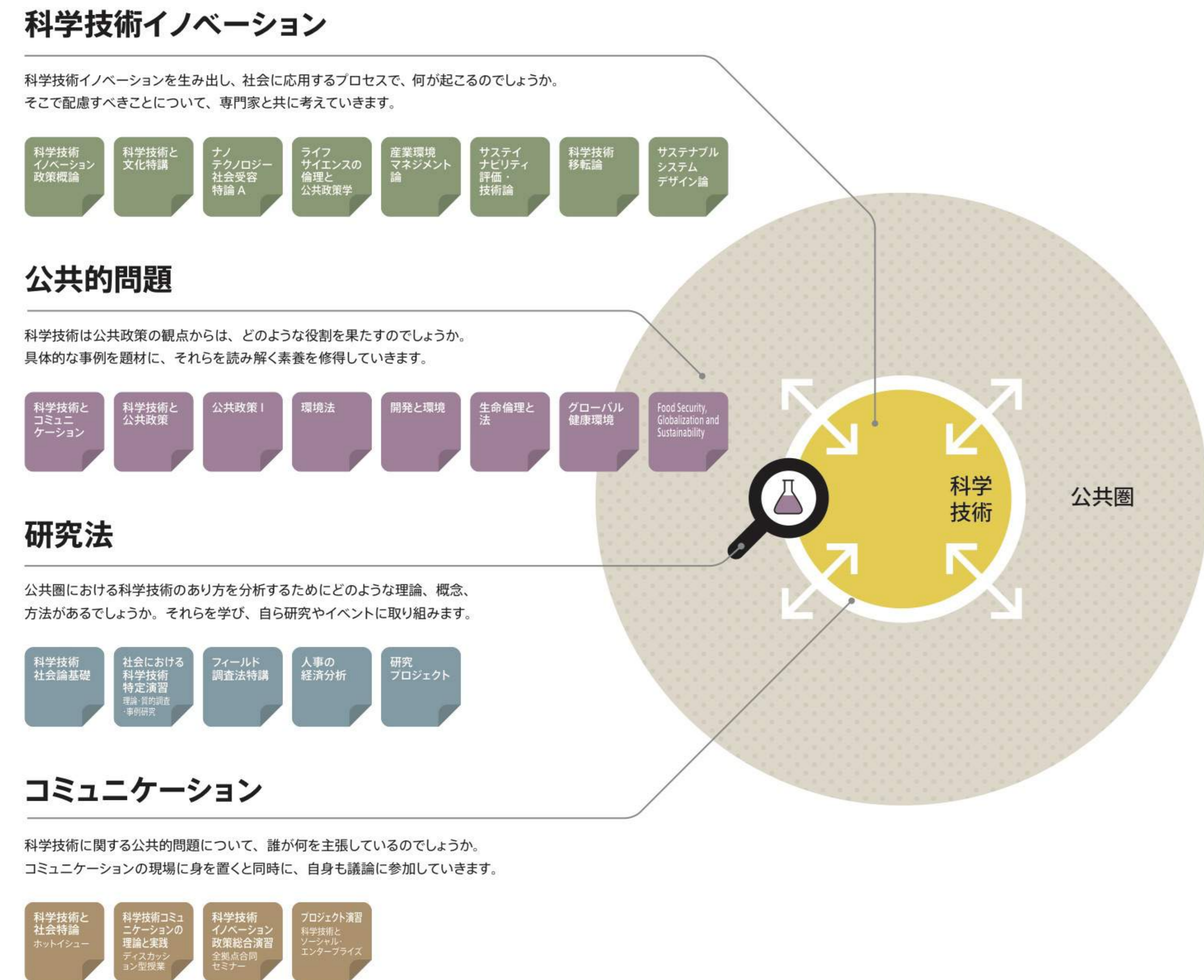


教育拠点として



自分の専門分野の枠組みを超えて、多角的に科学技術と社会の諸問題を理解し、学問と政策・社会の間を“つなぐ”ことを通じて政策形成に寄与できる人材の育成を目指しています。

提供している科目群



研究拠点として

幅広く科学技術の研究現場の動向を踏まえつつ、科学技術の倫理的・法的・社会的問題（ELSI）に関する研究を行っています。

個別政策課題プロジェクト

STiPS の大阪大学拠点、京都大学拠点それぞれで、個別政策課題プロジェクトを実施中です。

大阪大学拠点「新しい科学技術の社会的課題検討のための政策立案支援システムの構築」

超スマート社会などの新しい科学技術が社会に展開するときには、研究開発の早い段階から検討されるべき社会的課題が存在している。これらの課題の特定と課題対応の方法論を整理し、政策立案を支援するシステムの開発を行う。

京都大学拠点「自治体の持つ学校健診情報の可視化とその利用に向けての基盤構築」

学校健診情報など自治体もつ行政健康資料を、研究へ活用できるようにデータベースのかたちで可視化する。解析研究をすることで、付加価値を見出し、学術や産業での利活用の可能性を探る。

STiPS Handai 研究会



学内外の研究者や実務家をお招きする研究会を不定期に開催しています。



多くの授業で学生同士（時には、講師も交えた）ディスカッションが行われます。



いろいろな専攻の院生が参加することのできる授業科目を提供しています。

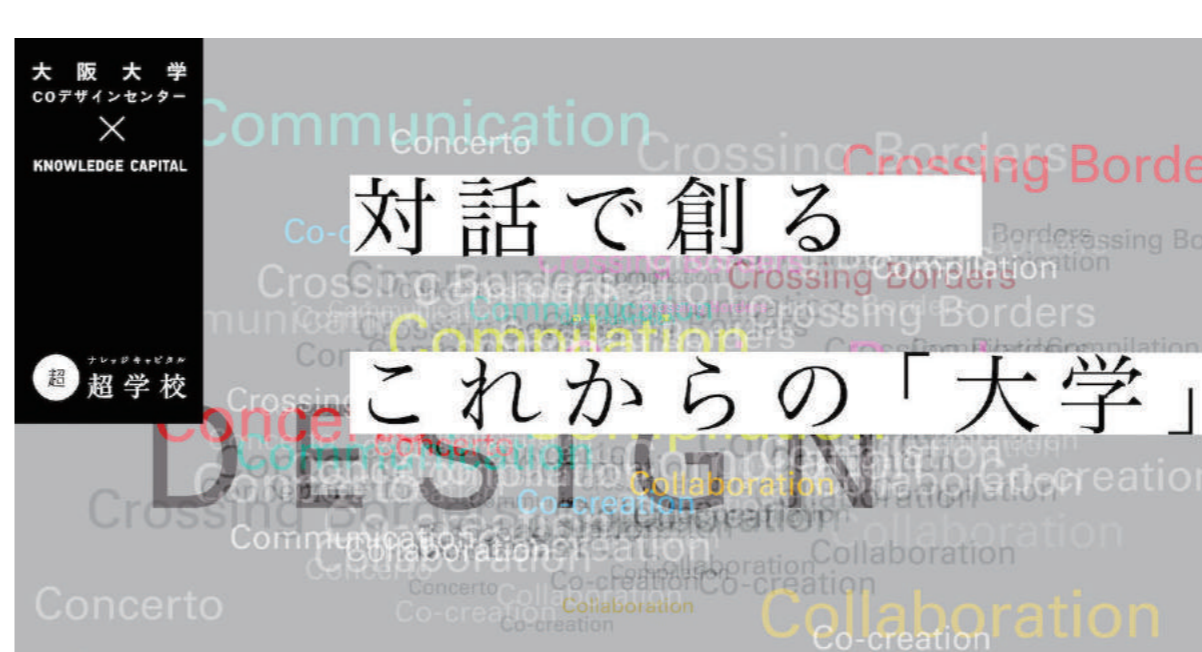
実践拠点として



大学の知と社会の知をつなぐ「社会学連携」の実践と、そこに学生が主体的に関与することも含めた教育を実施しています。



ラボカフェ「シリーズ科学技術イノベーション」を開催してきました。社会の様々な組織や個人とコラボレーションした対話の試みです。



2017年2月以降は、“つなぐ人材”にフォーカスした、新しい対話イベントシリーズを立ち上げます。